

まちづくり交付金 事後評価シート
小杉駅周辺地区

平成21年12月

神奈川県川崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

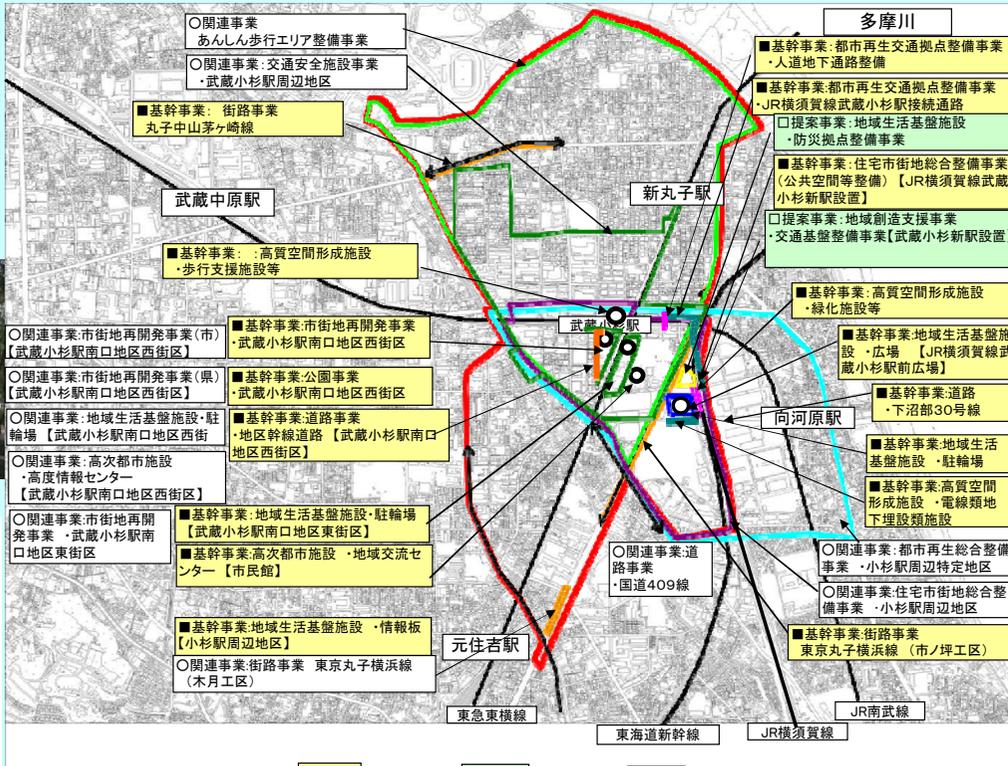
都道府県名	神奈川県	市町村名	川崎市	地区名	小杉駅周辺地区			面積	214.0 ha				
交付期間	平成17～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	27,262 百万円	国费率	0.398						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 【道路】東京丸子横浜線(市ノ坪工区)、【地域生活基盤施設】新丸子東3丁目(新駅):広場、新丸子東3丁目(新駅):駐輪場、武蔵小杉駅南口地区東街区:駐輪場、【高質空間形成施設】新丸子東3丁目(水路舗装):緑化施設等、【高次都市施設】新丸子東3丁目:地域交流センター、【都市再生交通拠点整備事業】人道地下通路、【市街地再開発事業】武蔵小杉駅南口地区西街区、【住宅市街地総合整備事業】JR横須賀線武蔵小杉駅設置 提案事業 【地域創造支援事業】JR横須賀線武蔵小杉駅設置、【地域創造支援事業】中原消防署・震災対策施設整備、【まちづくり活動推進事業】小杉駅周辺地区:自転車利用適正化事業、小杉駅周辺地区:快道回遊空間形成推進事業										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初		平成17～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更		-		-		-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅乗降客数	人/日	197,000	H13	227,000	H21	292,800	○	あり	目標にした約15%増加を上回っており、都市機能の集積や住宅供給及び広域利便性向上は確実に進んでいる。	H24年7月	
	指標2	道路の混雑度	-	1.60	H16	1.25以下	H21	-	×	あり	事業進捗が道路用地取得及び関係機関との協議の遅れにより道路が未整備であるため、評価値計測を行うに至っていないが、用地取得率は99%となっており、着実に事業は進捗している。	H24年7月	
	指標3	武蔵小杉駅南口駅周辺の駐輪需要対応率	%	約65	H15	約80	H21	78	△	あり	武蔵小杉駅南口地区東街区駐輪場の整備が遅延したことにより、目標値を達成できなかったが、新規に1,500台を整備したことから、78%の需要対応率が見込まれ、ほぼ目標値に近い成果を得た。	H22年7月	
	指標4	住宅供給戸数	戸	約1,000	H16	約5,000	H21	5,308	○	あり	平成17～21年度5か年住宅新規供給戸数4,276戸により目標を達成した。都市型居住機能導入と広域的利便性向上による流入効果を実現している。	-	
	指標5	市民館施設の稼働率	%	約62	H15	約70	H21	66	△	あり	目標値には達成しなかったものの、旧市民館に比べ新市民館の可能総コマ数を増加設置したため、新たな利用者の開拓がなされ、稼働率は4%上昇した。	H22年7月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		市民館施設の使用総コマ数	コマ	7,852	H15		10,014			新市民館の使用総コマ数(H21)は、旧市民館使用総コマ数(H20)8,747コマよりも増加しているため、新たな利用者の開拓を図ることが出来ている。	H22年7月	
	その他の数値指標2		東京丸子横浜線用地取得率	%	68	H17		99				道路整備は未了であるが、用地取得率は向上しており、一部工事に着手していることから、2期計画においても、引き続き整備を推進する。	H22年7月
4) 定性的な効果発現状況	都市基盤整備の進捗に伴い、土地の高度利用が図られるとともに、安全・安心・快適な回遊空間が形成されつつある。 また、住民アンケート調査より、以下のような意見をいただいた。 ・まだ整備中のものは評価できないが、完成している武蔵小杉駅エレベーターや新中原市民館はとてもよいと思う。 ・整備によって、人の流れが変わることを期待している。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	小杉駅周辺地区まちづくり戦略会議の実施。 エリアマネジメントの視点から、開発・再開発事業を契機とした地域資源活用による活性化方向を検討した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 小杉駅周辺地区における質の高い都市環境の実現へ向けて、ハードとソフトによる魅力ある個性的なまちづくりを推進し、市民主体によるまちづくり活動を支援する。				
持続的なまちづくり体制の構築	特定非営利活動法人である小杉駅周辺エリアマネジメントを設立。 地域コミュニティ形成のための各種イベント開催、子育て支援、広報誌配布、自転車放置対策等を実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 小杉駅周辺地区における質の高い都市環境の実現へ向けて、ハードとソフトによる魅力ある個性的なまちづくりを推進し、市民主体によるまちづくり活動を支援する。					

様式2-2 地区の概要

小杉駅周辺地区(神奈川県川崎市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 広域的な交通利便性が高く、商業・業務、研究開発、文化交流、都市型居住の機能が集積した広域的拠点の形成		駅乗降客数	単位: 人/日	197,000	H13	227,000	H21	292,800	H21
目標1: 交通結節機能を強化し、広域的な交通利便性を向上させる		武蔵小杉駅南口駅周辺の駐輪需要対応率	単位: %	約65	H16	約80	H21	78	H21
目標2: 都市基盤施設を整備し、土地の高度利用を図りつつ安全・安心・快適な回遊空間をつくる		住宅供給戸数	単位: 戸	約1,000	H16	約5,000	H21	5,308	H21
目標3: 商業・業務、研究開発、文化交流の3つの地域特性を活かしながら機能集積を図りつつ、都市型居住機能を導入する。		市民館施設の稼働率	単位: %	約62	H15	約70	H21	66	H21
		市民館施設の使用総コマ数	単位: コマ	7,852	H15	-	H21	10,014	H21



高質空間形成施設・歩行支援施設等
【JR武蔵小杉駅北口エレベーター】



凡例 ■ 基幹事業 ■ 提案事業 ○ 関連事業



防災拠点整備事業・中原消防署

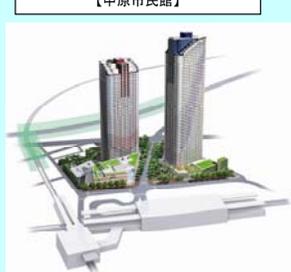


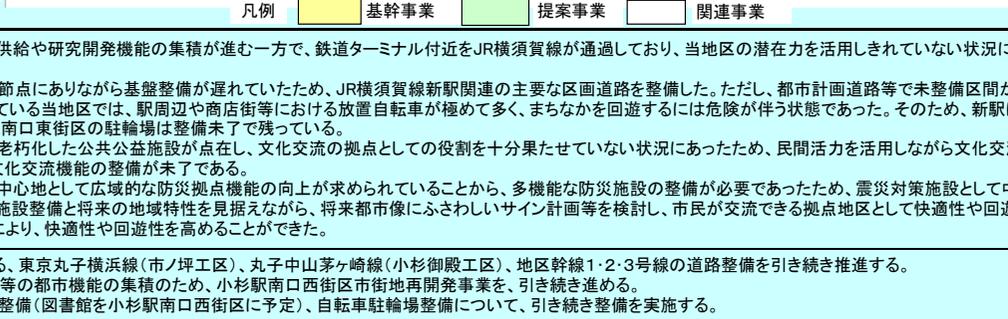
高次都市施設・地域交流センター
【中原市民館】





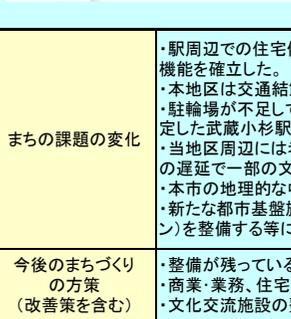
JR横須賀線武蔵小杉駅・向駅前広場

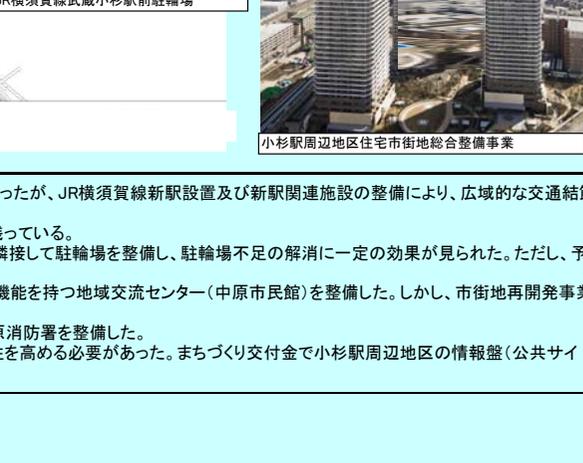






JR横須賀線武蔵小杉駅前駐輪場





小杉駅周辺地区住宅市街地総合整備事業

<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺での住宅供給や研究開発機能の集積が進む一方で、鉄道ターミナル付近をJR横須賀線が通過しており、当地区の潜在力を活用しきれない状況にあったが、JR横須賀線新駅設置及び新駅関連施設の整備により、広域的な交通結節機能を確立した。 本地区は交通結節点にありながら基盤整備が遅れていたため、JR横須賀線新駅関連の主要な区画道路を整備した。ただし、都市計画道路等で未整備区間が残っている。 駐輪場が不足している当地区では、駅周辺や商店街等における放置自転車が極めて多く、まちなかを回遊するには危険が伴う状態であった。そのため、新駅に隣接して駐輪場を整備し、駐輪場不足の解消に一定の効果が見られた。ただし、予定した武蔵小杉駅南口東街区の駐輪場は整備未了で残っている。 当地区周辺には老朽化した公共施設が点在し、文化交流の拠点としての役割を十分果たせていない状況にあったため、民間活力を活用しながら文化交流機能を持つ地域交流センター(中原市民館)を整備した。しかし、市街地再開発事業の遅延で一部の文化交流機能の整備が未了である。 本市の地理的な中心地として広域的な防災拠点機能の向上が求められていることから、多機能な防災施設の整備が必要であったため、震災対策施設として中原消防署を整備した。 新たな都市基盤施設整備と将来の地域特性を見据えながら、将来都市像にふさわしいサイン計画等を検討し、市民が交流できる拠点地区として快適性や回遊性を高める必要があった。まちづくり交付金で小杉駅周辺地区の情報盤(公共サイン)を整備する等により、快適性や回遊性を高めることができた。
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 整備が残っている。東京丸子横浜線(市/坪工区)、丸子中山茅ヶ崎線(小杉御殿工区)、地区幹線1・2・3号線の道路整備を引き続き推進する。 商業・業務、住宅等の都市機能の集積のため、小杉駅南口西街区市街地再開発事業を、引き続き進める。 文化交流施設の整備(図書館を小杉駅南口西街区に予定)、自転車駐輪場整備について、引き続き整備を実施する。